

学校教育目標
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
協力 協力し、励ましあう生徒
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.13

令和5年 2月17日

市川市立第八中学校
校長 岡 良和

☆スマホで見やすいレイアウトに変更しました☆

新型コロナ感染予防について

報道等でご存じのとおり、政府から今後の方針が示されました。

このことを受け、県・市ガイドラインが改訂される見込みです。

本校でも、新年度開始に備え、政府方針および県・市ガイドラインに沿った学校生活上の感染予防対策を準備してまいります。

政府方針

① 5月8日以降

感染症法上分類を「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げ。

② 3月13日以降(学校は4月1日以降)

～ マスクの着用について ～

・屋内外を問わず個人の判断に委ねる。

- ・通勤ラッシュで混雑した電車内など「マスク着用が効果的な場面」を例示
- ・今年度卒業式では、生徒や教職員は着用しないことを基本とする。

3月10日 八中卒業式について

次のとおり実施する予定です。

(変更の際は、随時連絡いたします)

- ・在校生は臨時休業とし、一部代表生徒のみ参加する。
- ・体育館の換気を十分に行う。
- ・卒業生の座席は、椅子の間隔を離す。
- ・卒業生は、「感染リスクが心配される場面(例:合唱、入場前待機中など)では、マスク着用」とし、その他「感染リスクが少ないとされる場面では、マスクをとってよい」こととする。
- ・入退場、ステージで証書授与などは、マスクをとることを奨励するが、マスク

をとることに抵抗を感じる生徒もいることから、本人の意思を尊重する。

- ・保護者は、座席の間隔が近いため、マスク着用をお願いする。

成績処理のデジタル化について

学校業務デジタル化の一環として、「成績処理の効率化」を図るシステム導入を検討しています。

システムの概要

- ① 定期試験、小テストなど、生徒の答案用紙をスキャン・デジタル化し、データ上で担当教員が、生徒回答の正・誤をチェックする。
- ② 正・誤チェックの結果は、答案データに○、×が自動で書き込まれ、個別の採点結果(Aさん:80点、Bさん95点など)およびクラスごとの集計が、自動で行われ、データベース化される。
- ③ データベース化により、問題ごとの正答率(問題の難易度が判定可能)、生徒個々の状況分析など、様々な用途の可能性が広がる。
- ④ 採点・集計が迅速化され、生徒への

答案返却が早まり、見直し・復習の機会充実につながる。

このシステムは、すでに茨城県公立高校入試に採用されており、類似のシステムが、全国各地で県・市単位で採用されているものです。

また、市川市内中学校では、すでに導入している学校と導入を検討している学校を合わせ、およそ半数が、次年度からシステム導入の見込みです。

八中では、今回定期試験で通常の成績処理に加え、一部教科でシステムを使用したシミュレーションを行い、その結果をふまえ、導入を検討してまいります。

「八中ブログ」👍 いいね!で、つながろう

八中ブログでは、生徒の生活や学習の様子、お役立ち情報を日々更新してまいります。

ブログの👍マークをタップして「いいね!」カウントを増やすことで、学年や部活の枠を越え、「チーム八中」みんなで応援し合い、心がつながる瞬間を増やしたいと考えています。

地域・保護者のみなさまも「いいね!」カウントアップをお願いいたします。

八中ブログ 🔍 検索

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai8-chu/>